

2021 年度実施概要

学校名

気仙沼市立唐桑幼稚園

採択活動名

もっと知りたい！気仙沼の海

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 唐桑保育所，松園幼稚園との交流や唐桑本吉4園での交流	全学年	
2. 市内の施設見学	全学年	
3. 海の幸を味わおう	全学年	

取り組みの概要

◎ねらい

様々な視点から海に親しみ海の魅力に気付いたり，海の秘密を発見したりする活動を工夫していくことで，幼児の興味や関心を広げ，好奇心を育てる。

めざす幼児像は以下の二点である。

- ・自分の思いや感動を声に出し伝えられる幼児
- ・体験したことを生かしながら遊びを存分に楽しむ幼児

◎活動内容

(1) 唐桑保育所，松園幼稚園との交流や唐桑本吉4園での交流

今年度は新しくできた唐桑保育所の年長児や，松園幼稚園の友達と馬場の浜遊びを存分に楽しみ，馬場の浜の魅力が教えることができた。また，海洋幼稚園こどもサミット in 沼尻海岸が開催され，市内の4園の年長児が集まり磯遊びや潮だまりでの生き物探しなどを行い，唐桑の海との違いを知ることができた。

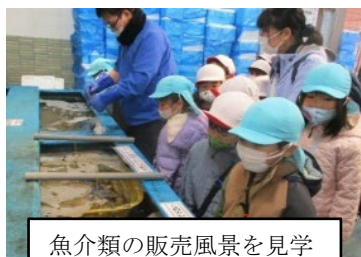
年少・年中児は年長児が見つめてきたカニや魚などに興味をもち，観察したり触ったりするなどし，海の生き物への関心が高まった。



生き物探しの様子

(2) 市内の施設見学

今年度は毎年行っている唐桑の漁協見学の他に，海の市見学や気仙沼ほてい工場の見学に行き，店頭で並ぶ魚介類や加工する工場など，もっと広い範囲での気仙沼の海を知る機会となった。自分たちの住む地域でどんな仕事があるのか，どんな特産物があるのかなど，実際に見ることで幼児なりにたくさんの発見と学びがあり，“あれはどうなっているんだろう”“自分もやってみたい”と仕事に対する興味や関心，憧れの気持ちにつながった。



魚介類の販売風景を見学



従業員さんに質問している様子

(3) 海の幸を味わおう

メカカレーやシャークナゲットなど気仙沼の特産物を使った料理を食す機会を多く取り入れた。また、サンマのつみれ汁やかまぼこを作り自分たちで実際にクッキングしたことで、「どんな味がするんだろう?」「食べてみたい!」と食への意欲が高まった。幼児は海の生き物を調理する過程を見たり、作ったり食べたりし、自分たちの食事に海の恵みが日常的に取り入れられていることを改めて感じる事ができた。



メカカレーを食べる様子



かまぼこを作る過程を見学



サンマのつみれ汁を作る様子

◎成果と課題

(1) 成果

- ・地域の人たちと関わる経験を増やすことで、改めて気仙沼の魅力に気付いたり、海や仕事への興味・関心が増えたりするとともに、疑問に思ったことを質問したり、話し掛けたりするなど、幼児自ら地域の人と関わろうとする姿が見られた。
- ・海の市見学や気仙沼ほてい工場の見学などから、気仙沼の海や魚に関する施設を知り実際見ることで、生き物だけでなく働く様子などの違う視点から、海に関心をもったりその後の遊びに繋がったりする姿が見られた。

(2) 課題

今年度も、新型コロナウイルスの影響で園外での活動が思うように展開できなかつた。特に鮭漁の不漁により鮭漁業組合の見学は実施の見通しが立たず、当初の計画を変更し予定外の体験活動を実施せざるをえなかつた。幼児の興味が沸く体験活動を職員間で話し合いながら計画を立てたり、変更を行ったりしてきたが、体験した後の振り返りなどから幼児たちの遊びに発展することが少なかつた。単なる経験だけで終わってしまい、ねらいとしていたところまで達成できなかつたと感じた。振り返りの時点で、どんなところに魅力を感じたのかなど教師の問い掛けを工夫し、幼児の“こんなことをしてみたい”、“作ってみたい”などの気持ちを引き出し、遊びに繋がられるようにしていきたい。

活動中の写真

デジタルデータにて2~3枚の添付をお願いします。

(本ファイルへ貼り付けた場合も、別ファイルでの添付をお願いします)